



## 地域の人々に親しまれる「不動寺のヤマザクラ」の 後継樹が里帰り

ー林木遺伝子銀行 110 番による樹木の増殖サービスー

### ポイント

- ・三重県名張市の不動寺に生えるヤマザクラからつぎ木増殖した後継樹の苗木が、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場から里帰りします。

### 概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場（岡山県勝田郡勝央町）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保全を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を行っています。このサービスを利用した不動寺（三重県名張市長瀬）からの増殖の要請を受けて、つぎ木により増殖し育てた「不動寺のヤマザクラ」の後継樹の苗木が里帰りします。

- 里帰り日時及び場所 日 時：令和3年2月9日（火曜日）14時00分～（雨天決行）  
場 所：三重県名張市長瀬 1372 不動寺
- 里帰りする苗木本数 5本

### お問い合わせ先

- 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場  
事業責任者：遺伝資源管理課 課 長 坂本 庄生（さかもと しょうき）  
担当者： 収集管理係長 山本 あゆみ（やまもと あゆみ）  
広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋（はやし かつひろ）  
Tel：0868-38-5138 Fax：0868-38-5139
- 朝日山 不動寺  
担 当 者：石島 孝文（住職） Tel・Fax：0595-69-1404
- 担当樹木医：広瀬 信三（日本樹木医会三重県支部） Tel：0595-51-5069

本資料は、三重県庁記者クラブに配付しています。

## 背景

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、関西育種場では、天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、樹木が衰弱している等で所有者等からの要請により後継樹の苗木を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を平成15年から実施しています。当育種場では令和元年度までに95本の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました。後継樹の苗木は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として成長することが期待されます。

## 内容

今回里帰りする後継樹の親木は、三重県名張市長瀬地域の人々に親しまれる「不動寺のヤマザクラ」です。不動寺は、真言宗豊山派で数百年の歴史があります。境内には、鎌倉時代後期様式の五輪石塔が建ち、カヤの木（樹高16.5m 幹周5.4m）の巨木も生育しています。

親木のヤマザクラは、墓地内に生育し推定樹齢100年以上で樹高8.0m 幹周206cmで八重咲、少し枝垂れ4月中下旬に開花します。石碑等の保護から昭和中頃と枝枯れにより数年前に一部伐採しました。近年は樹形、樹勢の衰弱が見られ枯損の危機を危惧していました。地域の貴重な財産を後世に伝えたいと常に考えていた不動寺の住職が、三重県の巨樹・古木調査に訪れた三重県樹木医学会の広瀬樹木医に相談し、後継樹の増殖を検討することとなりました。

令和元年8月に不動寺より関西育種場へ林木遺伝子銀行110番の申請があり、令和2年2月に親木から枝（穂木）を採取し、当育種場でつぎ木増殖を試みました。無事増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがたった5本を令和3年2月9日に里帰りさせることとなりました。

## 写真



不動寺のヤマザクラ（親木）



不動寺のヤマザクラの花